

基本取引契約書第5条に示す「甲の要求のあるとき、指示された様式、区分内容」に従った書式の例次ページに示します。

基本取引契約書 第5条 見積書の提出

1) 乙は、甲の依頼により、見積書を提出するものとする。また甲の要求のあるとき、指示された様式、区分内容に従って見積価格にかかわる内訳を速やかに提出するものとする。

2) 乙は、見積に際して、談合その他不正を行ってはならない。

(談合には、暗黙の了解のカルテルによる価格、水増し価格、キックバックのある価格(眠り口銭契約もキックバックの一種と考えられるので、それを含む)などの価格を含む)

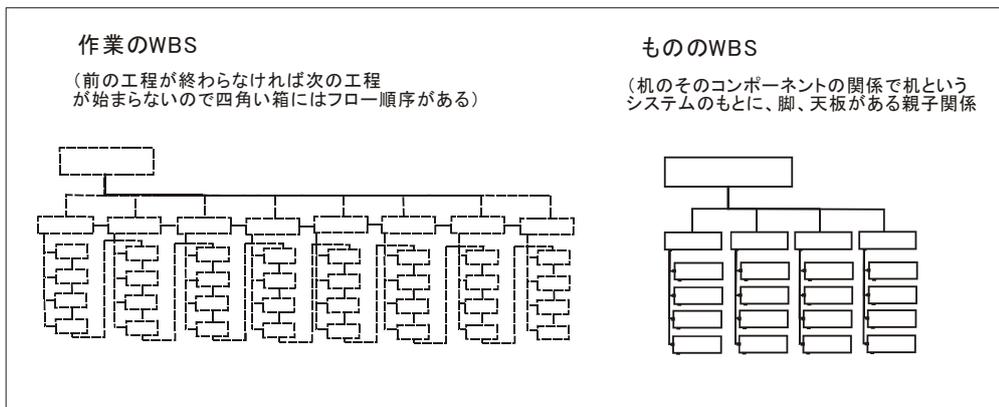
(注) 暗黙の了解のカルテルは、公正取引委員会事務総局文書番号 11-06-003/063-00-A、平成 18 年 11 月「入札談合の防止に向けて」によります。詳細は下記の URL をご覧ください。

<http://dten-wisdom.jp/J-Admini-Reformation/koutori/karuterunokaisetu-koutori.pdf>

価格構成表の使い方

- ① この価格構成表は、原価計算基準(昭和 37-11 大蔵省企業会計審議会)に基づいて作ってあります。
- ② 左端にあるゴジンタ(GOZINTA: Goes into の略)の親子関係は「作業の WBS」(注 1)の視点からいうと、子供側がインプット、親側がアウトプットに相当し、加工費がものつくりのコスト、とその検査、評価、意思決定、判断のために要するコストの集計になります。

(注 1: WBS とは作業手順やもの構造の親子関係を、下図のように落ちなく四角い箱で囲って示す表現方法)



- ③ また「ものの WBS」を見ると、部品、材料名の欄が「ものの WBS」その括りであり、その親子関係になります。ここでは部

品、材料名としていますが、文書や図面、作業指示書のときもあります。

- ④ スケジュールセットバックは、ロット生産の場合と一機ごと生産の場合(=特に組立ライン)で異なり、その数値は調整され、必要な場合には、セットバックスケジュールを、ポジション・ヴァリューという単位で示し、生産ピッチをかえるときに、生産ピッチに合った係数をそれに掛けその実際のな期日にします。従って、一発ものの開発のスケジュールの場合でも、量産を控えた開発もの、運用段階を控えた開発のときでも、一機ごと生産の場合(=特に組立ライン)の考え方を適用すれば、この価格構成表がそのまま使えます。
- ⑤ 表の上部に、作成目的という欄がありますが、ここに、見積用、目標値設定用、実績値集計用と記入して、その使い分けの目的を明示することが必要です。
- ⑥ 見積値の集計については、見積もり誤差が伴いますので、価格構成表の次のページに示してある **見積等級表の考え方**を適用します
- ⑦ 価格構成表構成表への記入要領は、左図のように一行おきに記入すると見やすく、使いやすく(追加の記入等も可能)になります。

この書式は、原価計算基準（昭和 37-11 大蔵省企業会計審議会）に基づいて作ってあります。

価格構成表

部品番号 _____ 部品名 _____ 作成責任者 _____ 作成目的 _____ 任意事項 (_____)
 メーカー _____ 作成基準 _____ 見様等級 (級) _____ 作成日 年 月 日
 注：(1) 区分とは、機械加工・組立等をいう。(2) (3) 標準工数を記入のこと。(4) 標準工数に対し、減派数・歩合・難見係数、その年度の加工比率等を掛け合わせた形で示し係数等の内容説明は別添資料とすること。 作成条件 _____ ロットサイズ _____ /lot

Item No.	組立 順位	部品または工程番号	名 称	1 set 分の 数量	見様 等級	直材費					加工費					外注加工費		開発費または治工具費				改善、品 質情報					
						材料内訳	単位	基準量	単価	材料費	購入部品費	セットバック	工数	加工費	セットバック	加工費	セットバック	加工費	セットバック	項目または 治工具番号	価格または費用		開発費	開発費			
		部品、材料名	番号	1 set 分の 数量	見様 等級	購入品(材料、部品)					社内部品加工費、組立費					外注加工費		割掛費				改善 情報					
	ゴジ ンタ	ここに、MAPL(製造組立部品表)の親 子関係を、ゴジンタ方式で記入する									スケジュール セット バック						スケジュール セット バック					スケジュール セット バック					

